

授業科目	言語発達学				
担当者	齋藤 典昭				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

子どもの発達の中でも0歳～学齢までの言語の発達について学びます。前言語期・単語獲得期・前期構文獲得期・中期構文獲得期と進んでいきます。コミュニケーションはことばの前からあるのだろうか？どんなことばから覚えていくのだろうか？話せるようになるのはいつ頃か？字を読んだり書いたりできるのはいつ頃か？ことばを育むにはどうしたらよいのか。これらのことは、ことばの障害とどのような関係にあるのか。といったことを学びます。

■ 到達目標

1. 年齢を聞いて、その年齢の言語発達について説明できる。
2. 子どもを観察し、その子の言語発達について概要を評価できる。
3. 言語発達についての基礎知識を獲得したことで、言語発達障害を理解できる。

■ 授業計画

- 第1回 ガイダンス。言語発達の大きな流れ。
- 第2回 コミュニケーションの発達。
- 第3回 コミュニケーションの発達。音声知覚の発達。
- 第4回 音声知覚の発達。
- 第5回 音声知覚の発達。映像資料視聴。
- 第6回 言語音の産生。喃語の発達。
- 第7回 喃語の発達。
- 第8回 初語。
- 第9回 語彙獲得の第1第2段階。
- 第10回 語意味の獲得。
- 第11回 統語の発達。形態の発達。
- 第12回 会話能力の発達。
- 第13回 会話能力の発達。語りの能力の発達
- 第14回 読み書き能力の発達。
- 第15回 言語発達における危険な徴候。質問－応答関係検査。

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

- ・ 次回の授業内容と準備を伝えるので、それにそって教科書、資料等を事前に読んでおくこと。
- ・ 子どもの言語発達の視野を広げるために、URL：<http://www.playingwithwords365.com> の記事 speech and language 101を参照しますので、事前に目を通して慣れておいてください。

■ 教科書

書名：標準言語聴覚障害学 言語発達障害学

著者名：藤田郁代 監修

出版社：医学書院

書名：言語聴覚士テキスト第3版

著者名：大森, 永井, 深浦, 渡邊 編

出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

■ 留意事項

授業の進行に応じて補講が加わるかもしれません。

■ 講義受講にあたって